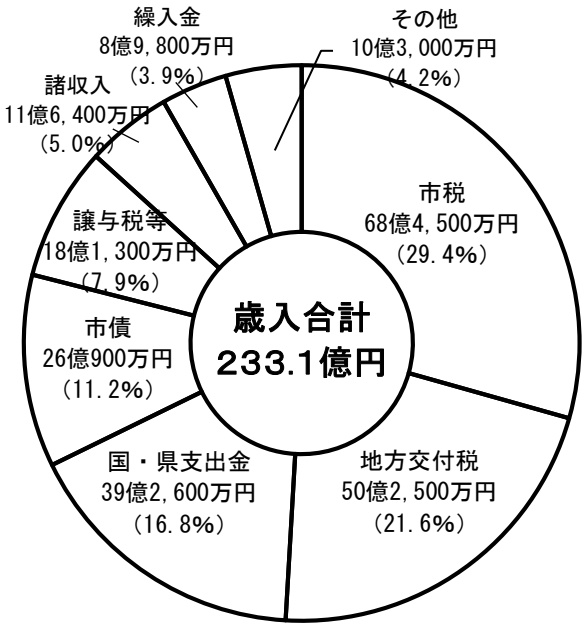
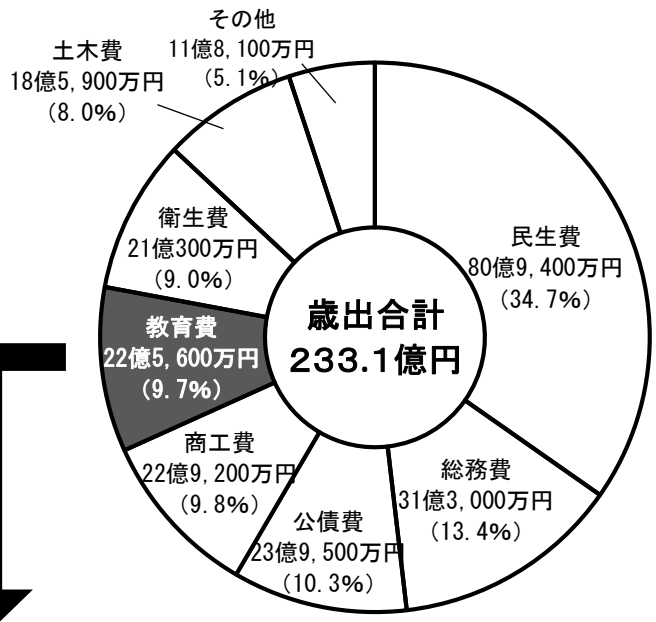
教　育　委　員　会　所　管　予　算
（令和７年度岡谷市一般会計当初予算）

歳入・歳出予算　　２３３億１，０００万円
（前年　２２４億円）

【歳入予算額構成比率】



【歳出予算額構成比率】



	R7	R6	増減
民生費	8,094	7,621	473
総務費	3,130	2,446	684
公債費	2,395	3,413	△ 1,018
土木費	1,859	1,990	△ 131
教育費	**2,256**	**1,986**	**270**
衛生費	2,103	1,965	138
商工費	2,292	1,709	583
その他	1,181	1,270	△ 89
合　計	23,310	22,400	910

	R7	R6	増減
教育費	**2,256**	**1,986**	**270**
教育総務費	390	498	△ 108
小学校費	539	508	31
中学校費	329	286	43
社会教育費	342	355	△ 13
保健体育費	656	339	317

「岡谷市教育大綱　教育理念」

自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり

令和７年度　教育委員会関係主要事業予算

拡充	中学校部活動の地域クラブ移行推進事業	5,372 千円
新規	おかやのまちじゅう学園化推進事業 （ウェルビーイング実践校ＴＯＣＯ－ＴＯＮ）	マンパワー事業
新規	校内教育支援センター設置事業	13,778 千円
拡充	特別支援教育推進事業	57,605 千円
繰越・継続	川岸学園整備事業	401,814 千円
新規	教育ＤＸ推進（ＧＩＧＡ端末第２期整備）事業	37,200 千円
拡充	学校給食費保護者負担軽減事業	43,752 千円
繰越	安全で快適な学習環境整備事業（学校トイレ洋式化）	21,000 千円
新規	移住者向け講座「“知る暮（シルク）”らしおかや」実施事業	65 千円
拡充	スポーツきっかけづくり事業	3,431 千円
拡充	『大人のためのラン＆ウォーク教室』開催事業	222 千円
新規	第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会推進事業	350 千円

令和７年度　教育部主要事業

第１０款　第１項　第２目　事務局費

【教育総務課】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
通学路交通安全対策事業	「第５次通学路交通安全プログラム」(令和６年度策定)に基づき、通学路の計画的な安全対策を実施する。 同プログラムで計画した通学路安全対策２５箇所の内、令和７年度は市道７箇所の安全対策工事を実施する。	※土木費にて計上 （１５，０００）
チーム岡谷による学びの創生・連携推進事業	学びの創生・連携支援室が中心となり、少子化が進行する社会に適応した豊かな学びを推進し、幼保小中接続期の連携支援、小中学校における学びの改革を通じて、未来を担う子どもたちに必要な資質、能力を育成する。	１４，４２６
（うち） 不登校対策アウトリーチ支援事業	増加する不登校児童生徒に対し、きめ細やかなサポートを行うため、家庭訪問等を行う不登校支援コーディネーターを配置し、学校と連携した不登校対策のアウトリーチ型支援を行う。	（３，１０４）
教員働き方改革推進事業	教員の本務である授業づくりや指導等に専念できる環境を整えるため、様々な取組を通じて教員の働き方改革を推進する。 ・学校留守番電話の設置 ・部活動の地域移行 ・学校家庭通信アプリ「すぐーる」など （小学校費、中学校費計上分含む）	６，７８６
（うち） 〔拡充〕 中学校部活動の地域クラブ移行推進事業	中学校部活動について、国県のガイドライン等に基づき、休日部活動の地域クラブへの移行を推進する。 ・地域移行検討委員会の開催 ・部活動指導員の配置（平日、休日） ・地域クラブ移行実証事業	（５，３７２）
平和体験研修事業	子どもたちが平和や人権について考え、実地で体験する機会として平和体験研修を実施する。 ・中学生広島平和体験研修　　1,689千円 ・小学生満蒙開拓平和記念館研修　1,721千円	３，４１０

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
〔新規〕 おかやのまちじゅう学園化推進事業（ウェルビーイング実践校ＴＯＣＯ－ＴＯＮ）	県教育委員会から派遣される教員とともに、幼保小中をつなぐ新たな学びの環境づくりの市内全域への展開などを検討するほか、自ら学びを選択でき、自己実現できる学校づくりの取組を進める。	マンパワー事業
ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進事業	地域資源を活用した岡谷ならではの学習スタイル「岡谷スタンダードカリキュラム」の実践を通して、岡谷の『ひと・もの・こと・こころ』に学び郷土を愛する心を育む「ふるさと回帰」の教育を推進する。 ・岡谷スタンダードカリキュラムに基づくふるさと教育の推進 ・キャリア教育の推進 ・岡谷版コミュニティースクールの実践	１，５０４
子ども教育相談センター事業	子ども教育相談センターに教育支援主事を配置し、学校や関係機関等と連携を図りながら、いじめや長期欠席、就学支援など個々の状況に応じた総合的な相談支援を行う。	４０，４２６
（うち） 〔新規〕 校内教育支援センター設置事業	市内４中学校と長地小学校に校内教育支援センター（旧中間教室）を開設し、不登校児童生徒等に対して、専任の支援員による相談・学習支援等を行う。	（１３，７７８）
〔拡充〕 特別支援教育推進事業	障がいや特性、困難さを抱える児童生徒に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進する。 小中学校に配置する特別支援教育支援員の拡充を図るほか、小中学校２校に設置しているＬＤ等通級指導教室や小学校のことばの教室の充実を図り、学習や生活上の苦手さの改善等の支援を行う。	５７，６０５
「聞いて！気づいて！わたしのサイン」事業	「ＳＯＳの出し方に関する教育」として、スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）による教職員向けの研修や小学４年生と中学１年生を対象にＳＯＳの出し方に関する授業を行う。 学校生活や日常生活での不安や悩みを早期発見できるよう、全児童生徒を対象としたアンケートを実施する。	４２６

第１０款　第１項　第５目　川岸学園整備費

【川岸学園整備室】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
（令和６年度繰越事業） 川岸学園整備事業	川岸学園構想に基づく義務教育学校及び認定こども園の開校、開園に向け施設整備を推進する。 令和７年度は、仮設校舎建築工事、校舎の一部解体工事、小学校校舎の大規模改修工事、接続棟建築工事等に着手する。 国交付金の前倒しに伴い、工事等の一部を令和６年度の繰越事業として実施する。	（３８９，３００）
川岸学園整備事業	川岸学園構想の実現をめざし、令和６年度繰越事業と合わせた整備を進めるほか、設立準備委員会及び各部会を開催し、開校・開園に向けた運営計画や諸課題の検討等を進める。	１２，５１４

第１０款　第２項小学校費　第１目　学校管理費

【教育総務課】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
情報教育推進事業	児童生徒に個別最適化された学びを提供できるよう、１人１台端末や学校情報機器を効果的に活用できる環境を整え、学校の情報教育を推進する。	１１７，９４７
（うち） 〔新規〕 教育ＤＸ推進（ＧＩＧＡ端末第２期整備）事業	学校に整備した１人１台端末が更新期を迎えることから、ＧＩＧＡ端末第２期整備として、児童生徒用及び指導者用端末を更新する。併せて、教育用ネットワークの強化や統合型校務支援システムの導入等により教育ＤＸを推進する。	（２３，６７６）
外国語授業支援強化事業	ネイティブの英語を身近に体験しながら学べるよう、外国人の講師による外国語指導助手（ＡＬＴ）を７名配置し、市内小中学校における外国語教育の支援強化を図る。	２２，１０９
〔拡充〕 学校給食費保護者負担軽減事業	物価高騰により食材費の値上げが続く学校給食の質と量を確保し、保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費の２割を公費負担し、子育て家庭の支援を行う。	２７，０４８

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
（令和６年度繰越事業） 安全で快適な学習環境整備事業 （学校トイレ洋式化）	児童生徒に安全で快適な学習環境を提供するため、上の原小学校のトイレ洋式化改修工事を行う。 国交付金の前倒し措置に伴い、令和６年度からの繰越事業として実施する。	２１，０００

第１０款　第２項小学校費　第２目　教育振興費

【教育総務課】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
就学援助事業	経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を実施する。 ・就学援助費　18,996 千円 ・特別支援教育就学奨励費　3,954 千円	２２，９５０
（うち） 低所得世帯等学校給食費無償化事業	低所得世帯の給食費無償化として、就学援助による給食費の支給を１０割支給し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。	（１１，６４８）

第１０款　第３項中学校費　第１目　学校管理費

【教育総務課】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
情報教育推進事業	児童生徒に個別最適化された学びを提供できるよう、１人１台端末や学校情報機器を効果的に活用できる環境を整え、学校の情報教育を推進する。	６７，４３４
（うち） 〔新規〕 教育ＤＸ推進（ＧＩＧＡ端末第２期整備）事業	学校に整備した１人１台端末が更新期を迎えることから、ＧＩＧＡ端末第２期整備として、児童生徒用及び指導者用端末を更新する。併せて、教育用ネットワークの強化や統合型校務支援システムの導入等により教育ＤＸを推進する。	（１３，５２４）
外国語授業支援強化事業	ネイティブの英語を身近に体験しながら学べるよう、外国人の講師による外国語指導助手（ＡＬＴ）を７名配置し、市内小中学校における外国語教育の支援強化を図る。	１２，６３４
〔拡充〕 学校給食費保護者負担軽減事業	物価高騰により食材費の値上げが続く学校給食の質と量を確保し、保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食費の２割を公費負担し、子育て家庭の支援を行う。	１６，７０４

第１０款　第３項中学校費　第２目　教育振興費

【教育総務課】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
就学援助事業	経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助を実施する。 ・就学援助費　19,830 千円 ・特別支援教育就学奨励費　3,428 千円	２３，２５８
（うち） 低所得世帯等学校給食費無償化事業	低所得世帯の給食費無償化として、就学援助による給食費の支給を１０割支給し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。	（８，８０４）

第１０款　第４項　第１目　社会教育総務費

【生涯学習活動センター】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
二十歳を祝う会開催事業	２０歳を迎える多くの若者の新たな門出を祝い励ますとともに、岡谷市の魅力を発信できる貴重な機会を活用し、式典にあわせて「ふるさと回帰」「就労支援」等に結び付く事業を実施する。	１，０９０

第１０款　第４項　第２目　放課後子ども健全育成費

【教育総務課】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
放課後子どもの居場所づくり事業	市内小学校の全ての児童が安全・安心して活動できる放課後の居場所を設け、参画する地域住民の知識や技能を活かした様々な交流活動を通じて、子どもたちの社会性、自主性、創造性など豊かな人間性を育むとともに、地域の大人との関わりにより地域コミュニティーの充実を図る。	４，６１３
（うち） 未来とつながる地域の○（わ）事業	放課後子どもの居場所づくり事業に、地域住民のほか、地元の高校生にボランティアに参加してもらい、地域ぐるみでの（わ）となって、子どもの健全育成と地域の担い手不足の解消を図る。	（３８）
学童クラブ管理運営事業	就労等により保護者が家庭にいない児童を対象に適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。	７１，５３１

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
おかや小学生夏休み わくわくサマースクール事業	夏休み中の小学生を対象にした学習支援活動として、学校の先生による補習の時間や、市主催の「岡谷子ども未来塾５年生版」、美術考古館の夏イベント等を組み合わせ、わくわくサマースクールとして実施する。	４８
岡谷子ども未来塾 （放課後の学習支援事業）	苦手科目の解消、学習意欲の向上及び家庭での学習習慣形成を図るため、放課後の時間、中学２年生を対象に、教員ＯＢなどの地域人材を活用し、英語・数学の学習支援を行う。	７８５

岡谷市育英基金

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
育英資金奨学金貸付金	経済的理由により短大や大学等への進学が困難な高校生等に対し、入学準備金や授業料等の学資資金を無利子の奨学金として貸し付ける。 奨学金利用者の内、卒業後、帰郷者に対する一部免除制度及び医師養成課程に進学し帰郷した医療者への免除制度により、地域を担う人材確保につなげる。	※財産管理費にて計上 １０，０００

第１０款　第４項　第４目　美術考古館費

【美術考古館】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
美術考古館 特別企画展等開催事業	質の高い芸術、文化作品に触れることのできる様々なジャンルの企画展を計画的に開催して、魅力ある展示を提供することで、来館者の確保やまちなかの賑わいの創出に繋げる。 【特別企画展】 日達れんげ展　６月～８月 辰野登恵子展　８月～１０月	１，０５７

第１０款　第４項　第５目　生涯学習活動センター費

【生涯学習活動センター】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
〔新規〕 移住者向け講座「“知る暮（シルク）”らしおかや」実施事業	岡谷市への移住者を対象に、岡谷で暮らす上で必要となるルールや移住者・子育て世代に対する助成・補助などについて学んでいただくとともに、市内にある施設などについて知ってもらうことにより、岡谷市でより良く暮らしていただくための一助とする。	６５
学びを活かす岡谷学 「コレカラ岡谷」事業	「学んだことを地域に活かす」ことに主眼をおいて、岡谷の日本遺産や史跡、自然、産業を学び、後世に伝承する語り部を育てることを目的に、実践的な講座と座学を連携して実施する。	６６

第１０款　第４項　第６目　図書館費

【図書館】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
ドキドキわくわく 子ども読書推進事業	「第４次岡谷市子ども読書活動推進計画」に基づき事業を推進する。「ファーストブック」「ファーストチョイス」の継続、家庭での読み聞かせの大切さの周知、小中学校図書委員のおすすめ本の紹介、ブックリストの改訂を行う。	３１４

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」活用推進事業	小中学校で「デジとしょ信州」が活用できる環境を整え、電子書籍という新たな読書スタイルの体験を進め、授業等での活用を推進する。また、「デジとしょ信州」内の『信州の資料』に岡谷市に関する資料の登録を進める。	１７６

第１０款　第４項　第７目　文化財保護費

【文化財】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
遺跡発掘調査事業	遺跡内での小規模開発事業や個人住宅建設に伴い、必要な場合に遺跡　発掘調査を行う。	３，５００

第１０款　第４項　第９目　市史編さん費

【市史編さん室】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
岡谷市史編さん事業	岡谷市史編さんのため、市史編さん委員会の運営、資料収集、整理、デジタル化、調査研究等を行う。	１４，５２２

第１０款　第５項　第２目　スポーツ施設費

【スポーツ振興課】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
スポーツ施設整備事業	令和 10 年度に開催される国スポ・全障スポの開催を見据えるとともに、施設の長寿命化を図るため、スポーツ施設環境を整備する。 ・やまびこの森アイスアリーナ改修工事 実施設計業務委託料　5,885 千円 ・市民総合体育館大規模改修工事監理業務委託料　4,682 千円 ・市民総合体育館大規模改修工事 405,000 千円	４１５，５６７

第１０款　第５項　第３目　スポーツ振興費

【スポーツ振興課】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
スポーツ＆健康 高齢者運動促進事業	４月、７月、１０月、１月の第３木曜日（年４回）を「元気いきいき岡谷シニアスポーツデー」として、市内外の６５歳以上の高齢者を対象に市民総合体育館の一部を無料開放し、スポーツ機会の充実を図る。当日、希望者には体力測定を実施するとともに、指定管理者のスポーツトレーナーによる運動講習会（無料）を開催する。	３０
スポーツ大会開催事業	市民一人ひとりがスポーツを通じ、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう、体力の向上、スポーツ人口の拡大、競技力の向上に向け、各種スポーツ大会を開催する。	２，４２５
〔拡充〕 スポーツきっかけづくり事業	スポーツを行うきっかけづくりの場を提供し、市民ひとり１スポーツの実現や生涯スポーツの普及を目指し、親子体験型のプログラムや各種スポーツ教室を実施する。 新たに働き盛りの世代を対象に、トレーニングルームを活用したトレーニング教室を実施する。また、多種目スポーツ体験教室の５教室のうち２教室を新しい種目として実施する。 ・おかやファミリースポーツプログラム 委託料　612 千円 ・スポーツ教室委託料　2,819 千円	３，４３１
〔拡充〕 『大人のためのラン＆ウォーク教室』開催事業	中高年者の初心者を対象に、歩行測定器を用いて歩き方のくせや姿勢を知り、測定結果を活かしたトレーニングを実施する。動作の基本である歩く、ゆっくり走ることで筋力増加、体力向上が図られるよう日々のなかで、コツコツ取り組み、先を見据えた健康寿命の延伸、健康貯金の促進の機会とする。	２２２

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
おかやキッズ運動大好き事業	子どもの運動能力や体力の向上を図るため、市内全小学校１、２年生のクラスごとの体育授業に専門指導員を派遣する。 また、運動に苦手意識のある子ども向けに、身体を使った遊びの要素を取り入れた「おかやキッズ体育塾」を実施し、楽しみながらスポーツに取り組む機会とする。 ・おかやキッズ体力アッププログラム 委託料　1,328 千円 ・おかやキッズ体育塾委託料　816 千円	２，１４４
おかやスケート振興事業	スケート文化と歴史を継承し、スケートに親しむ機会を提供するとともに、競技人口の拡大と競技力向上を図るため、各種スケート教室や氷上運動会等を実施する。 ・需用費　30 千円 ・スケート教室委託料　2,818 千円 ・会場借上料　540 千円	３，３８８

【国スポ・全障スポ推進室】

事　業　名	事　業　内　容	予算額（千円）
〔新規〕 第８２回国民スポーツ大会・第２７回全国障害者スポーツ大会推進事業	「国スポ・全障スポ推進室」を新たに設置し、令和 10（2028）年に開催される第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会通称「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の本市内定競技である卓球競技及びアイスホッケー競技の実行委員会を設立するとともに、諏訪湖周３市町共同開催のトライアスロン競技を含め、情報収集ほか、大会開催に向けた準備を進める。 ・先催県視察旅費　77 千円 ・需要費　249 千円 ・郵送料　24 千円	３５０